

# S G H向け～JICAが行う 国際理解教育支援事業のご紹介

2017年6月16日  
JICA広報室 地球ひろば推進課長  
内藤 徹

# 変わるグローバルリーダー像

- **社会は競争から共生へ**  
持続可能な社会、地球の限界、SDGs  
世界共通の課題、国際協調  
企業の社会的責任、課題解決ビジネス
- **コミュニケーションは討論から共創へ**  
多様性の受入と価値創造
- **課題解決は正解から判断へ**  
答えのない社会、予測不能な未来
- **グローバル化は多国籍、国内の地方も**  
新興国の台頭、多文化共生社会の到来

# JICAが提供できるもの

- 途上国の現状と課題、国際協力による課題解決についてリアルに学ぶ場
- 異文化、異言語の中で、現地の人と共に活動してきた日本人のストーリー
- 教員向けの国際理解教育に関する研修プログラム

# JICAが実施している主な事業は？

- 国際協力出前講座
  - 外国人研修員の学校訪問
  - JICA地球ひろば、JICA施設訪問
  - 中学生・高校生エッセイコンテスト
  - 海外のJICA事業現場訪問アレンジ
  - 教師海外研修
  - 国際理解教育指導者研修
  - 国際理解教育／開発教育の教材の提供
- 児童・生徒向け
- 教員向け

# JICAが実施している事業【生徒向け】

## 国際協力出前講座

- 青年海外協力隊やJICA職員等が自身の途上国での体験談や世界の課題について話す。
- 各都道府県ごと、全国で約50人の国際協力推進員を配置して展開。
- 年間約2,000件程度、20万人以上が受講。



## 外国人研修員の学校訪問

- JICAの研修で日本に来ている研修生・留学生が学校を訪問して、海外の状況や世界の課題等についてディスカッションしたり、異文化交流を行う。



# JICAが実施している事業【生徒向け】

## 地球ひろば、JICA施設訪問

- 全国3か所の地球ひろば(東京、名古屋、北海道)や、10か所の展示スペースがある国内機関を児童・生徒が訪問。修学旅行や社会科見学等でも活用されている。



### <地球ひろば訪問>

見て・聞いて・さわって体験できる展示スペースを、青年海外協力隊経験者による案内でまわり、世界の課題を理解する場。発展途上国での協力隊の活動体験談や開発教育教材を使ったワークショップを組み合わせたプログラムを実施。東京（市ヶ谷）には年間約400校以上、約3万人が来訪。現在、SDGsの展示を好評実施中。

### <国内機関施設訪問>

協力隊の体験談やワークショップと展示の案内、エスニックランチ等を組み合わせたプログラムを実施。実体験プログラムという高校生向けの合宿プログラムも一部実施している。

# JICAが実施している事業【生徒向け】

## 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト

- 中学生、高校生から世界の課題や国際協力に関するエッセイを募集。応募は8万点を超える。（100人に1人以上の生徒が応募）



## 海外のJICA事業現場訪問アレンジ

- スタディツアー等でJICAの海外事務所やプロジェクトの活動現場等の訪問を、学校やグループの希望に応じてアレンジ。



# JICAが実施している事業【教員向け】

## 教師海外研修

- 教員が約1週間の日程で途上国を訪問。  
(約18か国、140～150名程度/年)
- 国際協力の現場、途上国の現状を視察し、授業実践案を作り、実施する。
- 教育委員会の指導主事ら約20人/年が途上国を視察する行政官コースも実施。



## 開発教育指導者研修

- 国際理解教育に取り組む教員を対象にアクティブラーニングの手法等を使った授業を学ぶ研修を全国各地で実施。



# JICAが実施している事業【教材作成等】

## 授業で使える映像資料

高校生向けに「難民」「イスラム教」「教育」「国際協力・ODA」の4テーマにつき、各10分ほどの授業で使える映像と、それを用いたアクティブラーニングの指導案事例を紹介。（今月公開予定）



## 教員、生徒向け教材

- 日本と世界のかかわりや地球規模の課題、国際協力をテーマにした教材を作成、提供。

## 「先生のお役立ちサイト」での情報提供

地球ひろばのHPに教員向けの国際理解教育のサイトを開設。  
資料、映像、授業案、関連リンク等を集約。

# JICA事業を活用しているSGH校の事例

## 出雲高等学校

### (出前講座による連続講座の実施等)

- ・ SGベーシックセミナー(1年生)、探求型課題研修(2年生)等に、JICA出前講座を活用して連続した講義を実施。
- ・ 高校生実体験プログラムの活用やエッセイコンテスト・グローバル教育コンクールにも応募。

# JICA事業を活用しているSGH校の事例

## 名城大学附属高等学校

### (JICA施設訪問及びエッセイコンテスト活用)

- ・ なごや地球ひろば訪問プログラムを毎年活用して、学校の課題設定に応じ、国際協力の具体的な取り組みをJICAスタッフが講義。
- ・ 2015及び2016年度は、中部地区の企業と国際協力との繋がりを学習する機会を提供。
- ・ 毎年、エッセイコンテストにも多数応募。

# JICA事業を活用しているSGH校の事例

## 玉川学園高等部

### (研修員学校訪問・JICA事業現場訪問)

- ボツワナへのスタディーツアーの事前学習としてボツワナ出身JICA外国人研修員(留学生)による学校訪問を実施。文化・習慣等の理解を目的に、研修員が英語で講義を実施。
- 現地では、JICA事務所や青年海外協力隊の事業現場を訪問。